

平成26年度 宮津市当初予算（案）の概要

『宮津再生』の動きを加速化させる予算 ～ 「みやづビジョン2011」の本格化 ～

＜第1ステージ＞平成18～22年度
 ◆財政再建
 ◆元気づくりの種まき

＜第2ステージ＞平成23～27年度
 ◆財政健全化
 ◆「みやづビジョン2011」に基づく宮津再生への取組

＜第3ステージ＞平成28～32年度
 ◆財政健全化
 ◆「宮津再生」の実現
 ～住んでよし訪れてよしの宮津～

＜「みやづビジョン2011」の推進＞ ～ 宮津再生への動きを加速化 ～

I 地域経済力を高めるための「自立循環型经济社会構造への転換戦略」
 （外貨獲得と域内経済循環）

- 観光革命
- 農商工観連携による産業活性化
- 新産業の創出

II 人口減少に歯止めをかけるための「定住促進戦略」

- U・Iターンの促進と雇用創出
- 子育て・教育環境の充実
- 健康まちづくりの推進

- ◆ 観光革命AP
- ◆ 宮津マルシェAP
- ◆ 水産物ブランド化AP
- ◆ 竹資源活用型産業創出AP

IV <基本施策>

- 1 観光を基軸とした産業振興
- 2 環境保全と生活環境の向上
- 3 教育の充実と人材育成
- 4 健康増進と福祉の推進
- 5 暮らしの基盤の整備

- ◆ U・Iターン推進AP
- ◆ 福祉人材確保AP
- ◆ 健康づくりAP

V 市民との協働

III <地域経済・生活対策の充実> ～ 切れ目のない予算編成で（13か月予算）～

<「財政健全化計画2011」の推進> ～ 足腰の強い行財政基盤の構築に向けて～

＜予算規模＞

【一般会計】	
H25補正	1億5,845万円
H26当初	107億3,596万円
	108億9,441万円
(H24補正+H25当初)	
	112億4,397万円)
【特別会計】	
H25補正	1億5,600万円
H26当初	77億5万円
	78億5,605万円
(H24補正+H25当初)	
	72億6,173万円)
【企業会計】	
H25補正	—
H26当初	7億986万円
	7億986万円
(H24補正+H25当初)	
	6億1,661万円)
【全会計(合計)】	
H25補正	3億1,445万円
H26当初	191億4,586万円
	194億6,031万円
(H24補正+H25当初)	
	191億2,231万円)

※補正：3月補正予算のうち経済対策関連分

平成26年度 宮津市当初予算編成の基本方針

- ◆ 「みやづビジョン」に基づく「宮津再生」の動きを緩めることはできないため、市長選挙を控えた骨格的予算ではあるが、「重点戦略」や「アクションプログラム(AP)」関連事業について、重点配分した上で当初予算を編成
- ◆ また、4月から消費税が引き上げられる中で、国の経済対策等も積極的に活用し、「切れ目のない13か月予算」として、「地域経済・生活対策」を展開
(「25年度3月補正予算」と「26年度当初予算」を一体的に編成)

H24	108億35百万円 「宮津再生の息吹」を育てる予算 ～「みやづビジョン2011」 を始動から本格化へ～	平成18年度から22年度にかけて、「宮津再生」の第1ステージとして、危機的な財政状況から脱却するとともに、「元気なみやづ」に向けた種まきをしてきた。 平成23年度からの5年間は、第2ステージとして、宮津の元気づくりの芽を見出し、「宮津再生」の花を開かせ、実を結ばすことを目標とする。 「財政健全化」を着実に進めるとともに、これまでの種まきで芽吹いた宮津再生の息吹を育て、さらに大きく発展させるよう、宮津再生への取組を本格化させる予算として編成した。
H25	104億56百万円 「宮津再生の力(ちから)」を育む予算 ～「みやづビジョン2011」を本格化～	「財政健全化」を着実に進めるとともに、第2ステージの折返点として、「宮津再生」の実現に向けて、そのための「力(ちから)」をしっかりと育むことができるよう、重点戦略やアクションプログラムに基づく取組を本格化させる予算として編成した。
H26	107億36百万円 「宮津再生」の動き を加速化させる予算 ～「みやづビジョン2011」 の本格化～	平成25年度は、「宮津再生」の第2ステージ(H23～H27)の折返点であり、「宮津の元気づくり」の芽に花が咲き、そして実を結ぶよう、しっかりと宮津再生の「力(ちから)」を育んだ。 平成26年度は、市制施行60周年の節目年であり、当初予算は、この高まりつつある「力(ちから)」をもって「重点戦略」や「アクションプログラム」に基づく施策をしっかりと推進し、全市を挙げて「宮津再生」への動き・取組を加速する予算として編成した。

『宮津再生』の動きを加速化させる予算のポイント

自立循環型経済社会構造への転換戦略

- 観光革命
 - ◆がごりⅡに認定された外国人案内と観光プラットフォームの活動強化支援
 - ◆魅力ある観光地づくり(「海の京都」関連事業)と宮津マルシェの整備推進
- 農商工観連携による産業活性化
 - ◆農商工観連携の強化促進支援、地域おこし協力隊の活動支援
 - ◆担い手の育成・確保、元気な里・海づくりの推進、漁港施設の機能強化
- 新産業の創出
 - ◆竹カケド利用のビジネスモデル構築支援

定住促進戦略

- Uターン・Iターン促進と雇用創出
 - ◆Uターンサポートセンターの運営、空家空店舗改修助成(起業面もサポート助成)
 - ◆介護人材育成、特養整備支援と雇用助成
- 子育て・教育環境の充実
 - ◆のびのび放課後クラブの充実、子ども・子育て支援事業計画の策定
 - ◆いじめなどの問題事象への対応、学校統合に伴うきめ細やかな支援
- 健康まちづくりの推進
 - ◆健康づくり運動、認知症対策事業の推進
 - ◆健康診査受診環境の充実(土日健診の拡充等)

地域経済・生活対策の充実

- ◆25年度3月補正予算(26年度事業の前倒し)と一体となった経済対策
- ◆自治会要望等への対応の充実
- ◆臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金の支給

基本施策(主なもの)、市民との協働

- ◆有害鳥獣対策の充実(集落での埋設処理を解体・焼却処理に変更)
- ◆景観まちづくり助成制度の創設、重要文化的景観の保護推進
- ◆バス路線の充実(日置世屋線をデマンドからスクールバス・一般混乗として新設)
- ◆公共施設再生計画の策定(公共施設マシント)
- ◆「北前船寄港地フォーラム in 宮津」の開催(「海フェスタ京都」と連動)
- ◆市制施行60周年各地区記念事業等への支援

観光革命のポイント

(単位：千円)

アクションプログラム	施策体系	事業名・事業概要		予算額	説明資料	
観光革命AP (H25~H29)	◆誘客推進のための体制強化・意識改革・観光人づくり ◆全国ブランド化に向けた情報発信	新規	観光プラットフォーム支援事業 (着地型旅行商品の造成と販路拡大を行う観光プラットフォームの体制強化、運営支援)	11,811	I-1	
			魅力ある観光地づくり支援事業 (天橋立観光協会への活動支援強化)	15,779		
		充実	丹後観光情報センター運営補助事業 (丹後観光情報センター(天橋立駅観光案内所)外国人観光客対応職員(2名)の配置支援 など)	7,000	I-2	
		◆魅力ある観光まちづくり (海の京都構想による拠点整備等)	新規	海の京都事業拠点整備関連事業 (「駅についたら白砂青松」をコンセプトとした天橋立駅駅前広場の改修)	170,000	I-3
	新規		観光案内看板整備事業 (天橋立地区での観光案内板10基の整備)	3,500	I-4	
	新規		宮津湾にぎわいづくり促進事業(一部) (新観光航路(宮津~伊根間)の開設に向けた観光船の整備支援)	1,125	I-5	
	新規		公共交通利用促進事業(一部) (天橋立~伊根・宇川温泉バス路線運行車両の改装支援)	480	I-6	
宮津マルシェAP (H24~H27)	◆宮津まちなか「浜町地区」に新たな魅力ある集客機能を整備		宮津マルシェ推進事業 (道の駅機能部分(第1ステージ)のビジターセンター等の運営費、商業エリア(第2ステージ)の具体化に向けて協議・調整を担う商工会議所の体制強化、運営支援)	110,000	3月補正	
				14,938	I-7	

農商工観連携による産業活性化のポイント

(単位：千円)

アクションプログラム	施策体系		事業名・事業概要	予算額	説明資料
	◆農商工観連携による6次産業化の推進	充実	農商工観連携推進事業 (農商工観連携会議の活動支援・体制強化。特産品の開発等を行うため、大和学園と連携した料理メニューの創作・特産品開発等の支援。地域おこし協力隊や外部専門家(アドバイザー)を活用した6次産業化地域活性化のための取組の種まぎ)	21,858	I-8
			地域農業の元気づくり (地域農業の担い手の育成、確保と農地集積の促進)	6,180	I-9
	◆農の担い手育成と基盤等の整備		元気な営農推進事業 (人・農地プランに位置づけた集落営農への機械整備を支援し、農地集積を促進)	(1,120)	
			新規就農者育成支援事業 (新規就農者に給付金(生活費)を支給する等により、新たな地域農業の担い手を育成)	(4,560)	
			人・農地プラン策定等事業 (地域の話し合いにより、地域農業のあり方や今後の地域の中心となる担い手等を定めるプランづくりを支援)	(500)	
			元気な里づくり推進事業 元気な里づくり基盤整備事業 (農村集落の再生を図るための生産基盤の整備等)	12,800	I-10
水産物ブランド化AP (H24~H27)	◆生産拡大、流通・消費拡大、高付加価値化の推進	新規	元気な海づくり支援事業 (丹後とり貝等の水産物の生産拡大を図るための安定供給に向けた取組を支援)	2,372	I-11
			漁港整備事業 (養老漁港(里波見泊地)の防波堤越波等に対する安全対策と機能強化(消波ブロック整備)	100,000	I-12

新産業の創出のポイント

(単位：千円)

アクションプログラム	施策体系		事業名・事業概要	予算額	説明資料
竹資源活用型産業創出AP (H24~H27)	◆竹のカスケード利用によるビジネスモデルを確立		新産業起こし推進事業(起業支援型地域雇用創造事業) (竹カスケード利用によるビジネスモデルの産業化支援)	24,761	I-13

UIターンの促進と雇用創出のポイント

(単位：千円)

アクションプログラム	施策体系	事業名・事業概要		予算額	説明資料
UIターン推進AP (H24~H27)	◆交流人口を定住人口につなげる仕組みづくり		UIターン推進事業 (UIターンサポートセンターの運営、定住に向けた空家等改修補助)	4,000	II-1
			魅力ある商いのまちづくり支援事業 (空き家・空き店舗活用型新規出店者に対する店舗改装費等の支援)	15,000	II-2
福祉人材確保AP (H24~H27)	◆福祉人材育成	充 実	介護人材確保推進事業 (介護員養成講座(初任者研修)に係る支援、介護福祉士・介護支援専門員受験対策に係る支援)	3,215	II-3
	◆福祉雇用創出		特別養護老人ホーム整備費等補助事業 (宮津市高齢者福祉施設等整備促進補助金(雇用機会拡大補助金))	6,100	II-4
	◆企業誘致の促進と雇用創出		企業誘致推進事業 (雇用促進奨励金)	3,400	II-5

子育て・教育環境の充実のポイント

(単位：千円)

アクションプログラム	施策体系	事業名・事業概要		予算額	説明資料
◆子育て環境の充実	充 実		子育て支援の充実 (子育て世帯の負担軽減、親子が安心して過ごせる環境づくりの推進)	32,130	II-6
			地域子育て支援施設運営事業 (子育て支援センター(亀ヶ丘保育園、島崎げんきっこ広場)の管理)	(9,000)	
			ファミリー・サポート・センター事業 (会員間で子どもを預かる相互援助組織の運営による育児と仕事等の両立支援)	(1,630)	
			のびのび放課後クラブ事業 放課後児童クラブの運営(宮津、吉津、上宮津)と地域運営クラブへの支援	(21,250)	
			ペップキッズガーデンの運営	(250)	
◆教育環境の充実			教育支援センター事業 (子育て・教育に関する相談を行う教育相談室「こころのまど」と、不登校及び不登校傾向にある児童生徒に学校復帰と社会的自立に向けた支援を行う適応指導教室「こころのひろば」の設置)	6,170	II-7

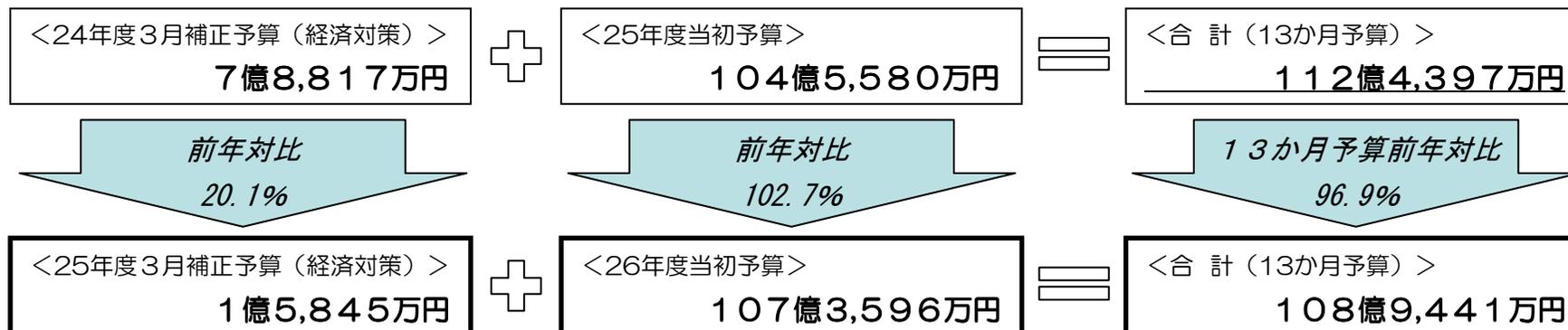
健康まちづくりの推進のポイント

(単位：千円)

アクションプログラム	施策体系	事業名・事業概要	予算額	説明資料
健康づくりAP (H25~H28)	◆歩くことから始める健康づくり運動の推進	健康づくり運動推進事業 (歩くことから始める健康づくりの推進)	3,618	II-12
		充実 天橋立健康ウォーク開催補助事業 (市制60周年記念事業「天橋立ツーデーウォーク」と「みやづ福祉・健康フェスタ」の開催支援)	2,500	II-13
	◆介護予防の推進	認知症対策の推進<介護保険事業特別会計> (認知症の早期発見・早期対応、家族支援等に取り組む認知症カフェ、認知症サポーター養成、介護者交流会ほか)	10,821	II-14
		新規 在宅療養多職種連携事業 (在宅療養における医師・介護員・保健師などの多職種連携の推進、医療・介護・福祉ネットワーク会議の設立)	700	II-15
	◆成人病等の早期発見 早期治療	充実 健康診査等事業 (生活習慣病やがん等の疾病の早期発見と早期治療につなげるための健診受診率向上対策(受診環境の充実))	37,077	II-16

平成26年度 宮津市当初予算（案）の概要【予算規模等】

一般会計予算の規模



一般会計予算の特徴点

<歳入の特徴点>

○ 市税：25億78百万円 ← 前年対比1.1%、28百万円の増

◇依然として厳しい状況ではあるが、法人市民税の復元傾向（法人住民税の増収）などによる増

・ 個人市民税	6億98百万円	⇒	6億91百万円	(△ 7百万円、△ 1.0%)
・ 法人市民税	1億70百万円	⇒	1億92百万円	(+ 22百万円、+ 12.9%)
・ 固定資産税	14億12百万円	⇒	14億15百万円	(+ 3百万円、+ 0.2%)
・ 市たばこ税	1億8百万円	⇒	1億17百万円	(+ 9百万円、+ 8.3%)

○ 実質的な地方交付税：40億58百万円 ← 前年対比4.9%、1億91百万円の増

・ 地方交付税	34億30百万円	⇒	36億50百万円	(+ 2億20百万円、+ 6.4%)
・ 臨時財政対策債	4億37百万円	⇒	4億8百万円	(△ 29百万円、△ 6.6%)

○ 繰入金：4億54百万円 ← 前年対比289.8%、3億37百万円の増

◇減債基金から2億60百万円、過疎地域自立促進特別事業基金から1億円を繰り入れたことなどによる増

○ 市債：8億22百万円 ← 前年対比15.4%、1億10百万円の増

◇投資的経費の増に連動した借入増加などによる増

<歳出の特徴点>

- 人件費：20億57百万円 ← 前年対比0.3%、7百万円の減
◇「財政健全化計画2011」による職員数の削減、独自給与カットの継続などによる減
- 公債費：18億12百万円 ← 前年対比19.2%、2億91百万円の増
◇平成22年度に増こうする償還額を抑制するために実施した繰上償還(5億55百万円)等の効果が平成25年度までであったことによる増 ※減債基金繰入金(2億6,000万円)で他歳出への財源影響を抑制
- 扶助費：18億16百万円 ← 前年対比4.6%、80百万円の増
◇福祉医療制度や障害福祉サービスに係る給付費の増加などによる増 ※消費税率アップに伴う増収分を充当
- 投資的経費：9億89百万円 ← 前年対比43.9%、3億2百万円の増
◇将来を見据えた事業の積極的な実施や自治会要望対応の増額などによる増
- 貸付金：17百万円 ← 前年対比97.8%、7億56百万円の減
◇(株)まちづくり推進機構、丹後地区土地開発公社への短期貸付金の大幅減による減
- 繰出金：14億87百万円 ← 前年対比44.6%、4億59百万円の増

・国保特会への繰出し	1億19百万円	⇒	2億37百万円 (+1億18百万円、+98.6%)
・後期高齢連合負担金 (補助金等として分析)		⇒	2億99百万円 ※財政見通しや決算と比較しやすいように分析を変更
・介護特会への繰出し	3億72百万円	⇒	4億3百万円 (+31百万円、+8.3%)
・簡水特会への繰出し	38百万円	⇒	55百万円 (+17百万円、+43.2%)

<市債・基金残高の状況>

- 平成26年度末の市債残高見込み：137億72百万円 ← 25年度末の見込み：145億38百万円
(ピーク時(H16)の市債残高(197億63百万円)から59億91百万円の減)
- 平成26年度末の基金残高見込み：13億92百万円 ← 25年度末の見込み：18億7百万円

- ◆「入りを量って、出するを制する」という視点が原点であるが、「出(いずる)を図って、中長期の視野も含めたかたちでしっかりと入(いり)につなげる」という視点で予算を編成
- ◆類似団体に比べて、義務的経費(人件費、扶助費、公債費)が多い中、今後は更なる人件費の抑制、新発債の発行管理と公債費の低額平準化、収入改革などに力点を置いた財政運営が必要